



永山南小だより

令和7年度 旭川市立永山南小学校 学校通信 11月号

12月1日発行

子供がよりよく活用するために～スマホ&SNS～



旭川市立永山南小学校長 成瀬 隆 宏



気が付けば11月も過ぎ去り、2学期もあと1ヶ月となりました。雪が降る日も増えて寒さが身にしみる今日この頃です。先週はインフルエンザ等による学校閉鎖を実施しましたが、今後も油断はできませんので、お子様の健康管理につきましては、引き続きよろしくお願いいたします。

11月6日(木)、本校にて「旭川市PTA連合会新永ブロック研修会②」が行われました。「子どものSNSのよりよい活用の仕方と親の向き合い方」をテーマに、上川町にある未来型公民館「大雪かみかわヌクモ」の館長である松井丈夫様(通称 たけっちょ)を講師に迎え、研修会を実施しました。対面とオンラインのハイブリットで実施し、対面40名、オンライン20名と、新永ブロックPTA会員の中からたくさんの方に参加をいただきました。たくさんの皆様に参加していただき、感謝申し上げます。

現在、デジタル技術は急速な進歩を遂げ、多くの世代へのスマートフォン普及や生成AIの台頭など、とどまるどころを知りません。学校でも、一人に一台の学習用端末が与えられ、ほとんどの授業で端末を効果的に活用した授業が展開されています。(今の小学生が若手～中堅社会人として活躍する20年後には、人工知能が人間の知能を超えるのではないかと…という予想もあるようです)

コロナ禍以降、学校では、デジタル機器の「よさ」を生かした活用を推進していますが、ご家庭でのお子さんのデジタル機器(スマートフォン・ゲーム機等)の活用状況はいかがでしょう?本研修会での質問では、「長時間利用するの困っている」「テレビと違い、スマホで何を見ているのか分からないことが不安」「スマホやSNSの活用に関わり家庭でのルール作りをどうしたらよいか」などが聞かれ、スマートフォンやSNSを活用する子供への親としての接し方に苦労されていることがよく分かりました。

本研修会では、各家庭で抱えるデジタルの活用に関する悩みについて、講師の松井様から次のような視点で、デジタル活用に関わる課題とその解決の手立てについてお話しくださしました。

<課題>

- 大人のデジタルの知識・知恵が不足している→大人が積極的に活用する中で、その良さと問題点を学ぶ。
- デジタルはあくまで「手段」であり、主たるものと考えてはいけません。
- スティーブ・ジョブズやビル・ゲイツは、デジタル技術を開発した当事者にもかかわらず、それらが子ども達の成長に与える影響を懸念し、自分の子どもにはスマートフォンを持たせていない。
- SNSやゲームはドーパミンを放出させやすく、依存症のリスクがある。ゲームやSNSの開発者はそのメカニズムを熟知している。



<解決に向けて「親子」でできること>

- ★家庭でのルールは、親が勝手に決めず、親子で対話しながら作るとよい。(宿題をするアプリはOK、寝る前1時間はオフ、課金は親に相談、家族そろってデジタル機器を使わない時間を決める など)
- ★SNSの投稿やLINEでのやりとりは、ポジティブな内容とする。ネガティブな投稿にならないよう親子で話し合う。ネガティブな書き込みは積極的に削除する。
- ★SNSやゲームなどをネタに、親子で楽しみ方やよりよい使い方について日頃から対話する。
- ★親より子どもの方が使い方に長けている。であれば子どもに使い方を教えてもらうくらいの気持ちで、親子のコミュニケーションを楽しむ。
- ★「既読スルー」にも寛容に向き合える心の余裕をもつ。(大人も含めて)
- ★トラブルが起きても責めず、「教えてくれてありがとう」とその解決方法を親子で一緒に考える。



要するに、スマートフォンやSNS等、デジタル機器の活用に関わるトラブルを防ぐためには、

親子の信頼関係のもと、子供にとって家庭が安心できる「安全地帯」となる

ことが大事!ということです。このことは、デジタル機器の利用にかかわらず、子育てのすべてにおいて大切なことです。デジタル機器の利用が必須となるこれからの時代、そこから目を背けず、あえてデジタル機器を窓口親子の対話を深め、より一層信頼関係を構築されることを願ってやみません。

👉 昨年の「永山南小だより 7月号」に『やっぱり心配…子供たちのスマートフォン使用について』という題で、アメリカの母親が13歳の息子にスマホを持たせる際に交わした18条の約束から抜粋していくつかを載せました。大変参考になる内容ですので、再度、読み返していただくとありがたいです!(本校HPでも見るができます)

11月の南っ子の様子



学習発表会が終わり、子どもたちもほっとした気分ではありましたが、各学年の生活も中盤から後半を迎え、次の学年を意識し、目標を設定しながら、新たな歩みを進め始めているところです。学習では、自分のできることを更に増やそうと熱心に取り組む様子が見られます。また、学級では、楽しい活動を企画しながら、仲間と楽しく過ごす様子も見られます。

自分で判断し、進んで学ぶ姿を目指して 人権について学習しました



自分から進んで学習に取り組むために、学習の場を自分で選択、判断しています。学習のまとめの場面など、自分の力で学習する場、友達と協力しながら学習する場、教師と一緒に学習をする場の3つに分け、それぞれの学びが深められる環境を整えています。

「CAPあさひかわ」の皆様をお招きし、3年生を対象とした人権プログラムを実施しました。「安心・自信・自由」の3つの権利や不審者からの身の守り方について学習を深めました。

安心・自信・自由を身振りで、特別な叫び声を実際に出して学びました！



学校を支えている高学年

各委員会での具体的な取組(主なもの)

児童会本部・代表委員会～異学年で宝探し大会
図書委員会～スタンプラリー
体育委員会～縄跳び大会、ドッジボール大会
給食委員会～もぐもぐチャレンジ
保健委員会～健康〇×クイズ大会
生活委員会～忘れ物なしグランプリ
放送委員会～職員室の先生にインタビュー
環境委員会～掃除ビンゴ

委員会活動を通して、5・6年生が協力して主体的に活動し、よりよい学校生活を目指して様々な企画に取り組んでいます。年々、横のつながりを意識した異学年同士の交流を行うなど、様々な活動が行われています。



代表委員会の企画



図書委員会の企画

授業読み聞かせ

3年生と4年生で、「授業読み聞かせ」を行いました。旭川おはなしの会の皆さんと本校の読み聞かせ会で行っていただいております。パネルシアターや紙芝居など、様々な形態の読み聞かせで本の世界に浸ることができました。



よりよいSNSとの向き合い方とは？

11月6日(木)に、PTA新永ブロック研修会が行われました。講師の大雪かみかわヌクモ館長の松井丈夫さんは、「保護者も一緒に使ってみる」ことや、「使い方のバランスが大切」ということをお話いただきました。



12月の行事予定

第65回 旭川市PTA研究大会

今年度も、旭川市PTA連合会の研究大会が11月9日(日)に開催され、本校からは8名が出席しました。

「自分らしく生きる事で輝く」をテーマにサッカー解説者の宮澤ミシェル氏による全体講演や、子どもの成長に関わる内容について、5つの分科会の中で学習を深めました。

- 1日(月) 交通安全ボランティア・登下校
- 4日(木) 全校参観日(5校時)
- 12日(金) 委員会⑧
- 15日(月) 口座引き落とし日
- 19日(金) 薬物乱用防止教室(6年)
- 25日(木) 2学期終業式(給食なし)
- 26日(金) 冬季休業(～1月14日)
- 29日(月) 年末の休日 学校閉庁日(～31日)